

授業科目等の概要

(動物管理専門課程 愛犬美容科) 平成30年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			一般教養	社会人として必要な一般知識、人間性の教育を学ぶ。	1通	40		○			○			○	○	
○			実務教養	一般常識や就職活動に必要な「考える力」、「文章作成能力」、「話す力」を強化する。	2通	40		○			○				○	○
○			パソコン演習	WordやExcel等のパソコンの基本操作を学ぶ。	1通	40			○		○				○	
○			販売小売学	小売業の役割や法令・接客販売の技術や顧客心理などの基礎知識を学ぶ。	1後	40		○			○				○	○
○			合宿研修《特別授業》	軽井沢研修所で社会人として基本的な団体行動のマナーや、仲間との共同作業を体験する。	12通	72				○		○	○			
○			動物美容学	基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学ぶ。	12通	100		○			○			○		
○			保定学	犬を中心に抱き方やグルーミングをする際の理想的な押さえ方の手法を学ぶ。	1前	20		○			○			○		
○			動物生態学	行動学、犬種学、猫学、鳥類学、魚類学、爬虫類学などのさまざまな動物の生態や種類を学ぶ。	12通	100		○			○			○		
○			愛玩動物飼養管理学	動物愛護と適切な飼養・管理に関する専門的な知識を幅広く習得する。愛玩動物飼養管理士2級取得を目標とする。	1通	40		○			○			○		
○			企業研究	さまざまな商品知識や接客態度を幅広く学び、ショップでの作業やお客様へのアドバイスがスムーズに行えるよう学習する。	1通	40		○			○				○	○
○			訓練学	犬の習性や総合的能力を理解し、トレーニングについての基本的な知識を学ぶ。	1前	20		○			○			○		

授業科目等の概要

(動物管理専門課程 愛犬美容科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			獣医学	犬猫を中心とした動物の体の構造と機能を理解し、各器官の代表的な疾患と治療法を知る。	1通 2前	60		○			○		○		
○			犬猫疾病学	犬猫を中心に主要な疾病の機序、症状、診断、治療法などを学ぶ。健康への回復を援助するため疾病に対する看護のポイント、健康の保持と促進ができるよう疾病予防の知識を学習する。	2後	20		○			○		○		
○			動物繁殖学	主に犬、猫の交配について妊娠から発情、交配、産後の管理方法を学ぶ。	2後	20		○			○			○	
○			動物美容器具演習	グルーミングにおける正しい器具の使い方、固定方法を演習を通じて学ぶ。	1前	20				○	○		○		
○			動物美容実習	動物実習を通じてグルーミングの基本から最新の技術を取り入れた応用までを学ぶ。	1 2通	1400				○	○		○		
○			動物看護実習	動物の状態を把握する能力を身に付け、基本的な看護技術を身につける。血液検査・糞便検査・尿検査などの診断へと導く重要な検査についての意義を理解し、技術を修得する。	2通	60				○	○		○		
○			動物管理実習	動物の健康管理や適正な飼養に必要な栄養・感染症・衛生管理やワクチンなどの疾病予防に関する知識や技術を学び、飼主への的確な指導やアドバイスができるようになる。	1 2通	80				○	○		○		
○			体験実習	店舗実習、訓練実習、ハンドリング実習、メイク実習、カラーリング実習、猫実習、ドックショー研修など多種多様な実習を体験する。	1通 2後	120				○	○		○		
○			校外研修 《特別授業》	様々な動物関連施設の実務を体験し、動物関連の業務及び動物の習性・特徴等を習得する。併せて、通常の授業では学ぶことの出来ない社会の規律を体得する。	1 2通	24				○	○		○		○
	○		経営学 《必修選択一般科目》	経営とは経験学にはかならない。知らずに経験して身につけるよりも、少しでも知っておいて経験することの有利さを知る。	2通	40		○			○			○	○
	○		販売小売学 《必修選択一般科目》	やがて社会人として巣立つことになるが、技術者としてのみならず、流通人として必要な知識を学ばなければならない。この知識は実践を通して身に付いていくことになる。	2通	40		○			○			○	○

授業科目等の概要

(動物管理専門課程 愛犬美容科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		POPデザイン演習 《必修選択一般科目》	POP広告の目的や役割を学び、POP広告クリエイターの資格取得を目指す。	2通	40		○	△	○				○	○
	○		パソコン実践 《必修選択一般科目》	1年時に学んだ内容を基に、更なる応用知識の習得を目指す。	2通	40			○		○				○
	○		造形デザイン 《必修選択一般科目》	デッサン等を通じてバランスのとり方やデザイン性を学び、トリミングに応用させる感性を養う。	2通	40				○	○				○
	○		愛玩動物飼養管理学 《必修選択一般科目》	動物愛護と適切な飼養・管理に関する専門的な知識を幅広く習得し、動物飼養管理士1級取得を目標とする。	2通	40		○			○				○
	○		訓練実習 《必修選択専門科目》	家庭犬訓練士ライセンス取得を目指し、犬についての基礎知識とトレーニング技術の習得を目的とする。	2通	60				○	○				○
	○		猫美容実習 《必修選択専門科目》	キャットグルーマーライセンス各級取得レベル到達のための技術向上を目指す。	2通	60				○	○				○
	○		ハンドリング実習 《必修選択専門科目》	ハンドリングを学び、ドッグショーの仕組み、目的を学ぶ。	2通	60				○	○				○
	○		アロマ実習 《必修選択専門科目》	精油の正しい使用方法を学び、犬とのコミュニケーションの取り方などを改めて学習する。	2通	60				○	○				○
○			国内研修	国内の動物関連施設を実際に訪れ、学内では経験できないことを自ら進んで体験し、動物分野の理解をより一層深める。	1 2通	72				○		○			○
○			海外研修	動物分野において先進国である欧米諸国の動物関連施設を訪れ、最先端の技術・施設等を目の当たりにすることで見識を深める。また、日本との違いを直接肌で感じることで自己向上意欲を高め、今後に役立てる。	1 2通	144				○		○			○
合計				32科目	2400単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①指定の課程において履修すべき全科目に合格すること。②指定の課程において所定の技能検定試験に合格し、登録すること。③履修期間の出席日数は、80%以上であること。④学習態度を勘案し、人格品性共に社会人としての資質を有すると認められること。⑤納入すべき所定の費用を期日までに全納すること。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	20 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。